

# 令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 萩ヶ丘 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和5年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

### 1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

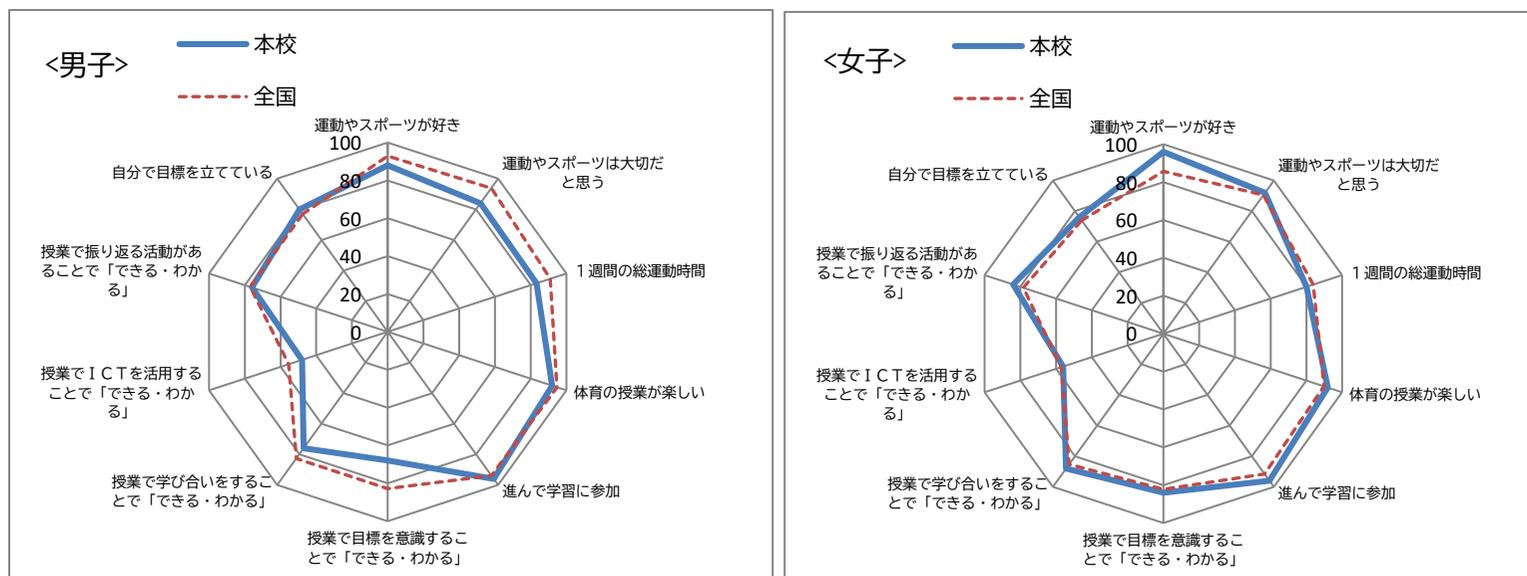
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
本市	16.30	19.17	34.49	40.75	49.29	9.48	152.47	21.39	53.38
本校全国平均以上の種目	○	○		○	○			○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28
本市	16.35	18.36	38.88	38.78	39.26	9.70	145.97	13.51	55.18
本校全国平均以上の種目					○			○	

#### 4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



#### 質問紙調査の結果分析

○男女ともに「進んで体育の学習に参加」「自分で目標を立てている」という項目が全国の平均を上回った。本校の児童は、めあてをもって、意欲的に体育の学習に取り組んでいる。

●「1週間の総運動時間」の項目は、男女ともに全国平均を下回っている。調査結果から、1日に2時間以上運動する児童も多いが、全く運動しない児童も多く、二極化が見られる。

#### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

##### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

4年生以上は体育専科による授業を行っている。めあてをもって、意欲的に体育の学習に取り組んでいることで、実技調査の結果は、ほとんどの項目で全国平均以上か同等であった。専門性を生かした授業の有効性を強く感じる。来年度以降も、体育専科を中心とした校内実技研修を継続し、教員の授業力向上を図る。

##### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

本校では、今年度持久走大会や縄跳び記録会に向けた取組を全校で行った。来年度も引き続き同様の取組を行う予定である。また、「1週間の総運動時間」の二極化の解消に向けて、児童の運動を推奨する啓発を、ホームページや学校通信等で行う。